

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 松本 万之

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 新町長の施策方針演説から問う	【趣旨説明】5月9日に開催されました臨時会にて、鳥羽新町長より施策方針演説を拝聴いたしました。 会派きずな代表の青木議員より代表質問にて施策方針演説で挙げた政策の目的、実現するための方法、目標達成の時期を伺いました。 私からは当会派代表質問以外で、新町長が施策方針演説で発言された内容についての以下4点の質問を致します。 【質問事項】 ①「最近、武豊町の元気がない」の元気がない～この10年間で武豊町を元気にする最後のチャンスの意味合いとは ②「知多半島で一番子育てのしやすい町」とありますが、今後どのような取り組みをされますか ③「武豊町議会の皆様と元気な武豊町を一緒に作って行きたいと考えている」とありますが私達議員側とどのような会話や会合をするプランを持たれているのでしょうか ④議会での一般質問、本会議、各委員会の You Tube 公開で政治の見える化や動画、SNS の配信強化で魅力を積極的にアピールしていくとありますが、専門の撮影及び配信者を用いライブ配信をとお考えですか
2. 街路樹の維持管理について	【趣旨説明】街路樹は道路や辺りの景観を快適にする美観や道路上の安全確保に繋がり、遮光や遮音の他に二酸化炭素吸収、さらには虫や鳥などの生息地になるなど環境を守る機能で人々に潤いを与えてくれる必要な機能や役割があります。 更に震災時などは倒壊物を支えて盾となって加害物から身を守ってくれる役割にもなりますし、火災発生時には焼き止まりへの効果が期待できます。 その反面、大木（高木）への成長も著しく国土交通省の調査では年間約5200本の街路樹が倒木となっています。 倒木になる主な原因として強風（台風を含む）が約3700本、老朽化や根腐れが約1500本となっていて、まだ記憶に新しいのは昨年の9月に東京都日野市で発生した銀杏の木の枝が落下して男性が死亡された非常に悲しい事故もあり、こうして樹木をめぐる事故が全国各地で相次いでいる状況でもあります。 樹木の成長も著しく進み、交通量が増加する中で樹木や植え込みが視界の妨げとなったり、高齢化社会に伴い地域住民の方による落ち葉の清掃作業が大変に負担だと言う声をも耳にします。 そこで街路樹の維持管理について以下5点の質問をします。

	【質問事項】 ① 町内の町道及び国道や県道の街路樹の維持管理の所管は ② 街路樹の剪定基準の明確化や主に大木を対象とした樹木医による診断は実施しているのか ③ 街路樹の枝が伸びる一方で、歩道など通行に支障をきたした場合や民家の屋敷内まで伸びてきた場合は近隣住民の判断にて伐採することは可能か ④ 街路樹の成長に伴い、木の根が縁石や歩道の舗装（インターロッキング）を持ち上げてきそうな場合の事前対応はされているか ⑤ 落葉時期の道路清掃車の使用基準は明確化されているか
--	--